

# 令和2年度 都立王子特別支援学校 学校経営報告

## I 目指す学校

校訓 「自立に向かって 確かな学び」を実現する学校

「確かな学び（専門性の高い学び）」の場を築となり、地域社会と連携して児童・生徒を社会自立に導く学校

## II 学校教育目標

- 夢をもち、その実現に向かってチャレンジする意欲を育てる
- 地域の一員として進んで社会に参加し、自立して生きる態度を育てる
- 自らを表現し、他人を尊重し協力する社会性を育てる
- 基本的な生活習慣を身に付け、健やかな心と体を育てる

## III 重点目標への取組と自己評価

自己評価：◎達成 ○概ね達成 △もう一息 ×未達成

重点目標	数値目標 等	評価
<b>学習活動</b>		
① アセスメントに基づいた個別指導計画の作成と個に応じた指導の充実	全学年実施	◎全学年で実施
② 新学習指導要領に応じた学びの充実に向け、全教員が1授業指導細案を作成する。	全教員	◎全教員実施
③ 自閉症の特性に応じた「社会性の学習」等の指導の研究と実践	全教員	○教科部会で指導研究を実施
④ 教育活動全体を通じた基礎基本を身に付けるための指導の充実	全教員	◎自立活動を中心に実施
⑤ 自立に向けて自己肯定感を高める授業の実践	全教員	◎研究授業にて実践
⑥ 教室環境チェックリストを活用した学習環境の整備	年3回	◎年3回実施
⑦ 「外国語」、「情報」、「道徳」の授業方法の研究		◎教科部会、研究授業等で実施
⑧ 各教科を合わせた指導について、教科との関連性や指導内容の工夫について検討し、系統性と発展性の構築		○各教科の指導内容について系統性と発展性を協議した
⑨ アートプロジェクト展への応募	20人以上	コロナ禍により開催なし
⑩ 芸術推進事業に参加し、児童・生徒の芸術に関わる諸能力の開発	全学年	芸術推進事業は見送りであったが、校内の作品展を各学年で開催
⑪ 主権者教育、オリンピック・パラリンピック教育の推進		◎小・中・高等部にて取組
⑫ 児童・生徒のケースの引継ぎを通じた学習のつながりの確保		○全学年で実施
⑬ 現場実習での評価を授業に効果的に生かすシステムの開発	進路希望の実現 90%	◎希望者 96%
⑭ 情報処理検定への参加		◎9人合格
<b>生活指導</b>		
① 「体罰ゼロ」の徹底	体罰研修年2回	○2回実施
② 「いじめゼロ」を徹底する。		○学期ごとにアンケート実施
③ 「事故ゼロ」を目指した安全指導の徹底	全教員	○学期初めに安全ケース会実施
④ 「自殺ゼロ」を目指したSOSの出し方に関する教育の推進		◎外部専門家と連携
⑤ SNS 東京ルールを踏まえた児童・生徒への「SNSの正しい使用方法」の指導の徹底	高等部	○毎学期保護者会で周知 セーフティ教室の実施
⑥ 保護者と連携した計画的な一人通学の指導を行う	新規10名以上	◎21名
⑦ 安全なスクールバスの運行		◎定期的な連絡会を開催
⑧ 放課後デイサービスと連携を図り、放課後の生活を充実させる	月1回	◎毎月連絡会を開催
⑨ 新しい学校危機管理マニュアルに対応した避難訓練の実施		○毎月実施
⑩ 宿泊防災訓練の実施	高等部1学年	○消防署・北区防災課と連携実施

⑪ 水害時の避難住民の受け入れについて北区と調整する		△調整中
<b>キャリア教育・進路指導</b>		
① 12年間の系統的発展的なキャリア教育の充実	講師招聘年2回	○講師による研修会開催
② 作業学習における中学部と高等部の連携		○アドバイザー年4回
③ アセスメントを活用した、中・重度生徒の企業就労を実現する進路指導の充実	企業就労率50%以上 1年以内定着率	◎療育手帳3度生徒の就労2名 (8%)
④ 王子カフェを稼働させる		○校内対象にオープン
⑤ 高等部クリーン班における除菌清掃指導の推進	企業就労者5人以上	◎6人 研修会3回
⑥ 現場実習の積極的実施により就労意識の向上	企業就労率50%以上	○40%
⑦ 地域と連携した就業体験活動の実施	2件	×未実施
⑧ 地域交流室の設置及び活用方法の検討と稼働に向けた準備		◎カフェをオープン
⑨ 個別移行支援計画を作成と進路選択・決定	高等部第3学年	◎移行支援に活用
⑩ 支援機関と連携した卒業生の職場定着支援	夏季休業中	◎H31 定着率 96%
⑪ 小学部、中学部、高等部における系統性・連続性のある校外学習の充実	12月まで	○校外学習の系統性の整理
<b>特別活動・部活動</b>		
① 児童・生徒の障害特性及び学習の成果が発揮できる行事の計画・実施		◎年間行事計画に沿って適宜実施
② 近隣の小中学校や副籍指定校と連携と交流及び共同学習の充実	年5回	○リモートを活用して実施
③ 生徒会活動の充実と活躍の場の拡充	高等部	○近隣中学校とリモートで交流
④ オリンピック・パラリンピック選手との交流を行い、スポーツへの関心を高める。	年2回	感染予防の観点から実施を見合わせた
⑤ 卒業後も楽しめる地域でのスポーツ大会に参加する。	年2回	
⑥ 外部指導員を活用した部活動の推進	高等部	◎4部活で5名の外部指導員
⑦ どの生徒も参加できる部活動の充実	高等部	◎12回実施
<b>健康づくり</b>		
① 適切なアレルギー対応を行う	アレルギー研修年1回	◎3回実施
② 豊かな食生活を目指した食育の推進を図る	年3回	◎全職員周知
③ 基本的な生活習慣の定着等健康教育の充実		◎年3回実施
④ 健康づくりの推進を図るための保健だより及び給食だよりの発行		◎毎月発行
⑤ 性教育やがん教育を含む健康教育、歯科保健指導の実施	◎歯科:年5回 性教育、がん教育: 高等部:年2回	感染予防の観点から歯科保健指導は行っていない。性教育、がん教育については◎
⑥ 精神科校医や心理士等と連携した心の健康維持	年10回	◎10回実施
⑦ 給食配膳下膳マニュアルの作成と安全な給食提供		◎作成、全教職員周知
<b>広報・センター機能</b>		
① 学校のホームページによる保護者や地域向けの情報発信		◎毎月更新
② 特別支援学校に対する理解推進のため、講演会、学校間交流、学校便り、出前授業、教育相談活動等の内容の充実		◎お便り、作品展示等で交流 リモート交流の実施、
③ 放課後デイサービスへの支援の充実	連絡会年2回	○放課後デイサービス連絡会年2回
④ 副籍交流の充実を目指した出前授業の実施		○2件実施
⑤ 「専門性向上事業」の実施		◎文京区と連携
⑥ 理解啓発研修会の実施と充実		感染予防対策の観点から中止
⑦ 小学校、中学校、高等学校の連合コーディネータ会議実施と連携		○リモートで開催
⑧ 中部フェスタ参加を通して高等学校等との連携と理解啓発	連携1校	感染予防対策の観点から中止
⑨ 就学前相談としてのコアラ広場の実施	小学部4回	△今後の実施に向けて北区と調整中
⑩ 改編後の新しい学校公開の企画と実施	年2回	感染予防対策の観点から中止
<b>人権に配慮した教育活動</b>		
① 本校教職員として丁寧な対応と挨拶の徹底		○教員向けビジネスマナー研修実施
② 教職員の人権意識を高め、生徒に対しては「さん」付けの徹底		○肯定的評価8割
③ 個人情報管理についての規定を強化し、個人情報紛失防止の徹底する。机の上に本棚は置かないクリーンデスクの取組		○本棚設置なし

④ 「服務事故ゼロ」を徹底する		◎服務研修年 3 回
<b>その他</b>		
① 新型コロナウイルスの適切な対応	通年	◎下校後の消毒の徹底
② 実習棟倉庫の整備	12 月まで	◎使用不可のものを廃棄
③ 一般需用費のセンター執行率向上推進	60%以上	◎ 6 2 %
④ 「働き方改革」に対応し、月 45 時間以上時間外労働を行う人を 20 人以内にする。週 1 回 6 時閉庁の推進		△「早く帰ろうデー」(1 日/週)等の設定: 70%。完全閉庁日(5 日/年)の設定: 90%。
⑤ 分掌の職務の整理及びマニュアル作成		○業務内容表に基づく、業務分担及び進行管理等の実施。業務内容の整理、見直し。(年度末)
⑦ 経営企画室の経営参画による円滑な学校運営		◎週 3 回経営会議実施